

第7回コンクリート技術研修会 報告書

日 時 : 2016年9月30日(金)13:00~17:00
場 所 : サンピアセリーズ 高知市高須砂地 155
主 催 : 高知県コンクリート診断士会
共 催 : (公社)日本コンクリート工学会 四国支部・(公社)高知県土木施工管理技士会
申込み者 : 268名 (官公庁 68、一般 180、会員 20)
参加者 : 219名 (官公庁 31、一般 168、会員 20)



挨拶：原田 隆敏
高知県コンクリート診断士会会長

関係各位また講師陣のご協力により、第7回の研修会を開催することができております。本年度はコンクリートの品質確保、特にひび割れについて第一線でご活躍されている講師陣を迎えております。この講習会がコンクリートの品質向上の一助につながれば幸いです。



【講演Ⅰ】『最近の国土交通行政について～担い手三法から生産性向上にむけて～』

湯佐 昭二
国土交通省四国地方整備局 企画部総括技術検査官
建設業界の建設投資額の減少、就労技術者の高齢化、若年技術者の不足が懸念されている。国土交通省ではインフラの整備、メンテナンスの品質確保、担い手の中長期的な育成等を図るため品質法の改正、ICT導入による業界の発展等を推進している。



【講演Ⅱ】『コンクリート構造物に「ひび割れ」が発生した場合の対応と工事成績評価について』

依光 功朗
高知県土木部技術管理課技査
本年度より「高知県建設工事成績評価要綱」が改正された。クラックが発生した場合、有害なものではない場合は極端な低評価にはならない。有害のひび割れを明確化した。ひび割れを生じた際は速やかに担当部局に連絡して対応することが良い。



【講演Ⅲ】『コンクリート構造物の「初期ひび割れ」について山口方式が確立されるまでの経緯について』

二宮 純

西日本高速道路エンジニアリング中国(株)山口支店支店長

山口県では施工者、発注者による試験施工においてひび割れの検証を進め、H19に抑制の3本柱「適切な施工、材料の対策、確実な施工」を確立。現在は不具合をデータベース化してシステムの運用を実施。H26には「品質確保システム」の運用を開始した。経済効果と品質の向上が実証されている。



【講演Ⅳ】『コンクリート構造物に発生する「初期ひび割れ」抑制対策と補修方法について』

田村 隆弘

国立高等専門学校機構 研究・産学連携推進室室長
(徳山高専副校長 土木建築工学科教授)

コンクリート構造物の耐久性確保において、ひび割れ対策は品質向上の一つの目安である。ひび割れを完全になくすことは難しいが、有害なひび割れを無害化することは可能である。鉄筋比を0.35%以上にすることで誘発目地を設けなくても有害なひび割れを防ぐことができる。費用対効果の面でも品質のよい構造物と作ることが重要である。



閉会挨拶：山本 克彦

高知県コンクリート診断士会顧問

関係各位の協力のもと7回目の研修会を迎えることが出来ました。当会主催の研修会の内容は建設業界から、高い評価を受けています。今後も第一線で活躍されている講師陣を迎え質の高い講習会を開催できるよう精進いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会場写真

